

鉄道車両における輪軸の緊急点検結果について

東北運輸局からの指示により、鉄道車両の輪軸組立作業の緊急点検を実施しましたが、委託先事業者の下請けにおける検査成績の数値が差替えられていることが判明いたしましたので、下記のとおりご報告いたします。なお、車両については点検した結果、安全性についての異常がないことを確認しております。

ご利用の皆様には、大変ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

1. お知らせまでの経緯

- 9月12日 国土交通省の通達により、委託先業者からの輪軸組立作業の検査記録(検査成績書)を確認。
- 9月25日 国土交通省東北運輸局へ問題がなかったことを報告。
- 9月27日 委託先業者の下請けの社内調査により車輪を車軸に組み込む作業(圧入作業)の圧入力値が許容範囲を超過、もしくは下回った数値を許容範囲になるように差替えがあったことが判明する。

2. 対象輪軸 12本 4両

検査成績の数値の差替え

- (1) 圧入力値が許容範囲より超過していた輪軸 10軸 3両
- (2) 圧入力値が許容範囲より下回っていた輪軸 2軸 1両

3. 安全確認、対応

輪軸の圧入力値が許容範囲を超過、もしくは下回っている輪軸については、車軸外径と車輪内径の差「しめしろ」が適正であること、圧入作業後も定期検査時に輪軸の超音波探傷検査ほか、車輪間の内面距離「バックゲージ」の測定や車軸に関する点検を実施しており、安全を確保しております。

今後は委託先事業者の下請けである株式会社総合車両製作所(J-TREC)に対して、原因究明と適切なデータ管理を行うよう求めてまいります。

以上